

団体の、活動ノウハウを公開する

活動 なう

[第2回]



「アジア民族造形館」

岩手県野田村 教育委員会事務局
生涯学習文化班 総括主査

小谷地 鉄也 さん

アジア民族造形館～ アジア文化の源流～

築200年の歴史ある南部曲がり家をアジアの展示館として改装し、第一展示棟ではアジア各国の民族衣装や陶器類、玩具などの資料、第二展示棟では寺院の装飾品や籠の編組品、色鮮やかな前掛けなどを展示している。



左上・スタッフの武又さんと川土さん(左から) 左下・施設内案内図 右・第1展示場の「南部曲がり家」

■アジア民族造形館創建の由来

昭和60年7月、野田村では朽ち果てていく「南部曲がり家」の有効活用を模索していたところ、アジア民族造形文化研究所・金子重量所長との縁により、アジア諸国の文化と日本文化の接点を探り、アジアへの理解と認識を深める場を実現するため、アジア各国の民族資料を展示する「アジア民族造形館」の創建に踏み出した。施設設備に当たっては、当地に残っていた築200年の南部曲がり家を改修し、日本初のアジア民族文化施設として、昭和61年11月に開館した。館内では、悠久の歴史に育まれたアジア各国の民族資料を展示し、アジア民族の知恵や技術を知ることが出来る。館の敷地内には、南部曲がり家の展示棟の他、タイの少数民族の復元住居がある。

■アジア民族文化展示への想い

まず、築200年を越える南部曲がり家をご覧頂きたい。実際この集落で生活されていた方々の曲がり家であり、他の場所から移築されたものではない。若い人から年配の方まで、幅広くこち



▶アジア各国の衣装を試着できる。1番人気は中央、韓国の「チマチョリ」
▶ミャンマーの飾り布



▶第2展示場の「南部曲がり家」

らしいものが沢山あり、初めていらっしゃる方には新鮮に見えて喜ばれていた。県内にもこういった、アジアにこだわった展示物がある施設はそうそう無いので、これからも大切にしていきたい。

■近隣施設及びNPO法人との連携

これまでも、様々なNPO法人等の協力をいただき展示替えやイベント開催など、ともに頑張ってきた。また、この先500メートル程の所に、同じく南部曲がり家を利用した、喫茶兼宿泊施設「苦屋」がある。こちらにはリピーターも多く、日本全国、国内外からも沢山の人が見られる。「苦屋」とはこれまでもお互いにお客さんを紹介するなど協力してきているので、今後も継続していきたい。

■現在抱える課題

アジア文化の発信拠点として当施設を運営するにあたり、専門的な知識の不足や予算的な問題がある。また、地域とのアクセスなど地理的な問題もあり、観光される方々のニーズに合わなくなってきた。古民家は囲炉裏の火を絶やすとすぐに屋根(茅葺)が傷み始めるため、冬期間(12月31日～3月31日)の休業もマイナス要因と考えられる。葺き替えは14、5年位で行わなければならないが、約2000万円の費用がかかる上、材料や職人も減少しているため、今後ますます大変になると思われる。

また、以前は施設内で、手打ちそばや田楽豆腐など、地元食材で作る郷土料理を味わえる食事処があったが、現在は残念ながら閉めている。

今後は、色々な面でNPO法人等の協力は必要不可欠なものになると考えている。

■今後に向けての抱負

拝観料を払って館内の展示物を見て頂くことも有難いが、景色を見ながら普段の生活と離れてゆっくりとした時間を過ごして頂くだけでも十分に満足して頂けると思う。これからも沢山の方々にいらっしゃって貰えるよう、地域の方々やNPO法人等の協力を頂きながら、皆で地域を盛り上げていきたい。



▶「苦屋さん」



▶ご主人夫婦(充さん、久美子さん)

●野田村教育委員会事務局

〒028-18201
岩手県九戸郡野田村大字
野田20-14-2
TEL: 0194-78-2936
FAX: 0194-78-2158

